

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013208 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1/2号排気筒解体工事								
	発生場所	2号機西側ヤード					2020/4/28	2020/4/28	2020/4/28	
	作業主管G	2号構台設置PJグループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	金属ガレキ	B	01	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0213
				2020/4/28
調整後保管日時		2020年5月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガレキ ⑤	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/5/25 8:10	15 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013208 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1/2号排気筒解体工事									
	発生場所	2号機西側ヤード						2020/4/28	2020/4/28	2020/4/28	
	作業主管G	2号構台設置PJグループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2020/3/25		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-154
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガレキ	B	01	D	A	15 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0214
調整後保管日時				2020年5月25日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガレキ⑤	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 10:30	15 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	G1タンクエリア						
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2020/5/1		測定者	測定器名		ICW-BL	管理番号
	No.		保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率
					① ② ③			表面線量率
	1		不燃物(金属ガラ)		B 01 W B		5 m <sup>3</sup>	20 μSv/h
	2						m <sup>3</sup>	
3						m <sup>3</sup>		
4						m <sup>3</sup>		
5						m <sup>3</sup>		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0223
				2020/5/1
調整後保管日時		2020年5月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 9:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月25日	(月)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G1タンクエリア			2020/5/1	2020/5/1	2020/5/1				
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/5/1	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 1F-ICWBL-14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	W	B	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0224
				2020/5/1
調整後保管日時		2020年5月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	9:00	承認	審査	作成						
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)												
	発生場所	北西ヤード・中継ヤード・物揚場			2020/5/7	2020/5/7	2020/5/7							
	作業主管G	1号カバー設置PJグループ			監理員	TEL								
	元請会社				担当者	TEL								
線量測定	線量測定年月日	2020/4/28	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-90						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③										
		1	金属ガラ	B 01 D B						7.5 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
		2	不燃物その他(バッテリー×3個)	B 10 D B						0.1 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	不燃物その他(防災シート類)	B 10 D B	1.5 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無								
4	不燃物その他	B 10 W B	0.5 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無								
5														

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
 1)放射線管理員・放射線管理仕様書に基づき表面線量率測定を実施しました。2)防災シートはビニール袋に収納につき結露有ります

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0261
				2020/5/7
調整後保管日時		2020年5月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/28 8:50	10 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013204 - 0004

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	大型保管庫第一棟建設工事							
	発生場所	南造成地 大型廃棄物保管庫第一棟(GN-12)					2020/5/7	2020/5/7	2020/5/7
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/10	測定者		測定器名	ICWβL	管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	B	02	W	A	5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2					m <sup>2</sup>				
3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0264
				2020/5/8
調整後保管日時		2020年5月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/5/26 10:00	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0004

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	大型保管庫第一棟建設工事							
	発生場所	南造成地 大型廃棄物保管庫第一棟(GN-12)					2020/5/7	2020/5/7	2020/5/7
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/10	測定者		測定器名	ICWβL	管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	可燃物その他			A 04 W A	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	木材類			A 03 D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	紙・ウエス類			A 01 W A	0.5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
5					m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0265
				2020/5/8
調整後保管日時		2020年5月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:40	0.3 m <sup>2</sup>				1
2	1	木材類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:40	2 m <sup>2</sup>				1
3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:40	0.4 m <sup>2</sup>				1
4	1	紙・ウエス類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:40	1.3 m <sup>2</sup>				1
								m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	大型保管庫第一棟建設工事								
	発生場所	南造成地 大型廃棄物保管庫第一棟(GN-12)					2020/5/7	2020/5/7	2020/5/7	
	作業主管G	建築設備建設グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/10	測定者			測定器名	ICWβL		管理番号	F1-ICWβL-108
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2	塩化ビニール類	B	05	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0266
				2020/5/8
調整後保管日時		2020年5月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:10	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	10:00	承認	審査	作成						
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】												
	発生場所	タンクヤード全域					2020/5/8	2020/5/8	2020/5/8					
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL							
	元請会社				担当者		TEL							
線量測定	線量測定年月日	2020/4/7	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号	F1-ICWBL-165						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
		1	紙・段ボール・ウエス	A 01 D B						3 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
		2	養生シート	B 10 D B						2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
3				m <sup>2</sup>										
4				m <sup>2</sup>										
5				m <sup>2</sup>										

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0268
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-6
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・段ボール・ウエス ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 10:00	2.6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	養生シート ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 10:15	4 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	11:00		承認	審査	作成
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】							
	発生場所	タンクヤード全域						2020/5/8	2020/5/8
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/4/7	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号	F1-ICWBL-165	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	B	3.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
2	テープ・土のう袋	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
3	木材	A	03	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0269
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	0.6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	テープ・土のう袋 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	2.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	木材 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】								
	発生場所	タンクヤード全域				2020/5/8	2020/5/8	2020/5/8		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/8	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号	F1-ICWBL-30		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
	1	鉄くず	B	01	D	B	1.5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	不燃シート他	B	10	D	B	1.5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0270
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 9:10	1.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃シート他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 9:10	1.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作業主管理 G 記入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	10:30	承認	審査	作成					
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】											
	発生場所	タンクヤード全域					2020/5/8	2020/5/8	2020/5/8				
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL							
	元請会社				担当者	TEL							
	線量測定年月日	2020/4/8	測定者			測定器名	電離箱測定器	管理番号	F1-ICWBL-30				
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	トン袋			A	04	D	B	3 m	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
2								m					
3								m					
4								m					
5								m					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0271
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トン袋④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:20	2.7 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月27日	(水)	10:30	承認	審査	作成					
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】										
	発生場所	タンクヤード全域			2020/5/8	2020/5/8	2020/5/8					
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL						
	元請会社				担当者	TEL						
	線量測定年月日	2020/4/8	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号					
							F1-ICWBL-30					
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B・α 汚染の有無
1	ビニール			A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	ゴム他			A	04	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3								m <sup>2</sup>				
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0272
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:20	1.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、B+γ線量率欄に「B+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、B+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
	発生場所	タンクヤード全域					2020/5/8	2020/5/8	2020/5/8
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/8	測定者		測定器名	電離箱測定器	管理番号	F1-ICWBL-30	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	トン袋	A 04	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2					m <sup>3</sup>				
3					m <sup>3</sup>				
4					m <sup>3</sup>				
5					m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0273
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トン袋 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/28 9:10	3.9 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥、W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0087

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F2～4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(2020)								
	発生場所	1F4号機R/B				2020/5/11	2020/5/11	2020/5/11		
	作業主管G	地下水対策設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/5/8	測定者		測定器名	ICS-1323	管理番号	—		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
2	ケーブル類	B	08	D	B	0.4 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
3	不燃物その他	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0276
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICW	F1-ICW-189
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:00	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ケーブル類 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 8:50	0.5 m <sup>2</sup>			2
	3	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 8:50	0.5 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —
					01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他
					01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
								05 —

A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0017

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	汚染土運搬委託								
	発生場所	地下貯水槽 ii 北側資材置場					2020/5/11	2020/5/11	2020/5/11	
	作業主管 G	土木水対策設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/4/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-38		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	機器類・制御盤類	B	03	W	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0277
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 8:10	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	汚染土運搬委託								
	発生場所	地下貯水槽Ⅱ北側資材置場					2020/5/11	2020/5/11	2020/5/11	
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/22	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-38
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ		B	01	W	B	5 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2							m			
3							m			
4							m			
5							m			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0278
				2020/5/11
調整後保管日時		2020年5月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 9:30	6 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月29日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4エリア						2020/5/12	2020/5/12	
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/5/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-35	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	角パイプ他	B	01	D	A	5 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m			
	3						m			
4						m				
5						m				
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0298
				2020/5/12
調整後保管日時		2020年5月29日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	角パイプ他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/29 8:00	4 m			1
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月29日		(金)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	Cエリアタンク基礎他設置工事および同関連除却工事							
	発生場所	Cエリア				2020/5/12	2020/5/12	2020/5/12	
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/5/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-35
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
1	タンク雨樋、手すり他	B	12	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0300
				2020/5/12
調整後保管日時		2020年5月29日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	タンク雨樋、手すり他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/29 10:35	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日	(火)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-3号機R/B北東部他雨水対策工事								
	発生場所	3号機T/B(GJ-24)			2020/5/12	2020/5/12	2020/5/12			
	作業主管G	建築設備建設グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/5/11	測定者	測定器名		ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0301
				2020/5/12
調整後保管日時		2020年5月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 10:30	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0007

作業主管理	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	10:30	承認	審査	作成							
	作業件名	1F-3号機R/北東部他雨水対策工事													
	発生場所	3号機T/B(GJ-24)				2020/5/12	2020/5/12	2020/5/12							
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
線量測定	線量測定年月日	2020/5/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
		①	②	③											
		1	機器類・制御盤類	B 03						D A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	無	
		2									m <sup>2</sup>				
3				m <sup>2</sup>											
4				m <sup>2</sup>											
5				m <sup>2</sup>											
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0302
				2020/5/12
調整後保管日時		2020年5月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ②	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:30	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥 W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6010505 - 0003

作業主管理	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	車両整備業務							
	発生場所	構内整備工場				2020/5/12	2020/5/12	2020/5/12	
	作業主管G	資材グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G記入欄メモ	線量測定年月日	2020/5/7	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	
	148								
G記入欄メモ	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D A	2 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
	4				m <sup>3</sup>				
5				m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0304
				2020/5/12
調整後保管日時		2020年5月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/5/26 8:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

G記入欄メモ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013208 - 0005

作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1/2号排気筒解体工事								
	発生場所	2号機西側ヤード					2020/5/12	2020/5/12	2020/5/12	
	作業主管G	2号機台設置PJグループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-154		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B・α 汚染の有無	B + γ 線量率	
	1	金属ガレキ	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0320
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	B + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガレキ ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:00	7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者			測定器名	FI-ICWBL		管理番号 80	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
	1	ペットボトル		A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合5/15、18、20、22以外希望									

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0328
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	FI-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ペットボトル④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 9:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		
作業主管理	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13			
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	80		
	記入欄	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
1		紙	A	01	D	A	5 m	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無		
2							m					
3							m					
4							m					
5							m					
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合5/15、18、20、22以外希望												

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0329
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ + $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	紙④		2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/5/25 9:50	5 m			1
												m			
												m			
												m			
												m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメ主欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

主 管 入 欄	保管希望日時	2020年5月25日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号 80			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙	A	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合5/15、18、20、22以外希望									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0330
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP(屋外)	2020/5/25 9:50	3.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012311 - 0009

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	マスク洗浄乾燥設備除却工事								
	発生場所	入退域管理棟				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	保安総括グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/5/13	測定者			測定器名	シヤロ-型電離箱式	管理番号	F1-ICWBL-14	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	シンク類	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
2	電気温水器、エアコン類	B	03	D	A	2.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3	塩化ビニール類	B	05	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
4	ケーブル類	B	08	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
5	その他	B	10	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0335
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	シンク類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:10	3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	塩化ビニール類(→H)④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:00	1 m <sup>2</sup>			2
	4	1	ケーブル類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:10	0.3 m <sup>2</sup>			1
	5	1	その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:10	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	3号機R/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機TB建屋屋上(GI-25)				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/24	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0336
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	8:00		承認	審査	作成				
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)											
	発生場所	第二土捨場南					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13				
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-213			
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ			B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無	
2								m <sup>3</sup>					
3								m <sup>3</sup>					
4								m <sup>3</sup>					
5								m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0337
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/27 8:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)								
	発生場所	第二土捨場南					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13	
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-213		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0338
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/27 8:40	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不 燃 物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		C	難燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		D	伐 採 木	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)								
	発生場所	第二土捨場南				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-213		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③						
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0339
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月28日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-189
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/28 8:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)							
	発生場所	第二土捨場南					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-213	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0340
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/28 8:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	第二土捨場南					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13	
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-213
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0341
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/28 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)								
	発生場所	第二土捨場南				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	土木基礎設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-213	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	5 m <sup>3</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無		
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0342
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/28 9:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月29日		(金)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)							
	発生場所	第二土捨場南						2020/5/13	2020/5/13
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							F1-ICW-213		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0343
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月29日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-189
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/29 8:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0013

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0344
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月29日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月29日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事(その2)								
	発生場所	第二土捨場南						2020/5/13	2020/5/13	
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-213	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	1.5 $\mu$ Sv/h	1.5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \cdot \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2020年5月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-189
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/5/29 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0041

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	T/B油処理装置設置(電気工事)									
	発生場所	#4 T/B2FL 滞留水電気品室				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/12			
	作業主管G	電気設備建設グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-119		
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	MCCユニット	B	03	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	2	ダンボール	A	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0345
				2020/5/13
調整後保管日時		2020年5月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	MCCユニット②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/5/27 9:50	1.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0037

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	増設焼却炉建屋設置(電気工事)									
	発生場所	増設焼却炉建屋				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13			
	作業主管G	電気設備建設グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/5/7	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-108			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β+γ 線量率			
	1	電線管・鉄くず	B	01	D	B	2 m	1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2	ケーブル	B	08	D	B	2 m	1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	3						m				
	4						m				
	5						m				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0347
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-189
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	電線管・鉄くず ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:20	4 m			1
	2	1	ケーブル ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 10:20	1.5 m			1
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路清掃業務委託								
	発生場所	1F 構内排水路						2020/5/14	2020/5/14	2020/5/14
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/22	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	① ② ③									
	1	不燃物 その他			B 10 W A	5 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0350
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/28 9:10	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	メモ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月28日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路清掃業務委託									
	発生場所	1F 構内排水路			2020/5/14	2020/5/14	2020/5/14				
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/4/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	塩化ビニール類	B	05	W	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ゴム類	C	01	W	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0351
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-163
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類 (→H) ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/28 9:00	0.5 m <sup>2</sup>			2
	2	1	ゴム類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/28 9:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート					2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無
	2						m			
	3						m			
	4						m			
5						m				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0352
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 8:30	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート								
	作業主管G	1～6号機械設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0353
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/25 8:30	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月25日	(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート								
	作業主管G	1～6号機械設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				

注:  $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。  
・フレコンバック収納

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0354
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/5/25 11:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴				
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015501 - 0110										
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成											
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託																		
	発生場所	メガフロート						2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13										
	作業主管G	1～6号機械設備グループ				監理員			TEL											
	元請会社					担当者			TEL											
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-117										
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	係留ロープ	A						04	D	A	5	m	10	$\mu$ Sv/h	10	$\mu$ Sv/h	無	
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納																				

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0355
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
	1	1	係留ロープ④	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアPI(屋外)	2020/5/25 11:00	5 m			1
												m			
												m			
												m			
												m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ															
モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
①	B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		
	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年5月26日	(火)	8:30	承認	審査	作成
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託					
	発生場所	メガフロート			2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号
							F1-ICWBL-117
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の有無
	1	可燃物その他	A	04	D	A	5 m <sup>2</sup>
メ モ	2					m <sup>2</sup>	
	3					m <sup>2</sup>	
	4					m <sup>2</sup>	
	5					m <sup>2</sup>	
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納						

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0356
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 8:30	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015501 - 0110		
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託										
	発生場所	メガフロート				2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13				
	作業主管G	1～6号機械設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	FI-ICWBL-117		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
		①	②	③								
	1	可燃物その他	A	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無		
	2						m <sup>2</sup>					
3						m <sup>2</sup>						
4						m <sup>2</sup>						
5						m <sup>2</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納												

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0357
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	FI-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 8:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託									
	発生場所	メガフロート					2020/5/13	2020/5/13	2020/5/13		
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0358
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	1.9 m <sup>2</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 11:00	0.9 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013606 - 0004

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日		(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託							
	発生場所	多核種除去設備(GQ-20 西側)					2020/5/14	2020/5/14	2020/5/14
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者		測定器名	ICW、ICWBL	管理番号	402・31	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2					m <sup>2</sup>			
	3					m <sup>2</sup>			
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0360
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 10:00	4.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年5月26日	(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託								
	発生場所	多核種除去設備(GQ-20 西側)			2020/5/14	2020/5/14	2020/5/14			
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/5/12	測定者		測定器名	ICW、ICWBL	管理番号 402・31			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	05	—	0361
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年5月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H) ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/26 10:00	4.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	D	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作業主管理	保管希望日時	2020年5月27日		(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託							
	発生場所	多核種除去設備(GQ-20 西側)					2020/5/14	2020/5/14	2020/5/14
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
線量測定年月日	2020/5/12	測定者				測定器名	ICW、ICWBL		
						管理番号	402-31		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③				$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
記入欄	2					m <sup>2</sup>			
	3					m <sup>2</sup>			
	4					m <sup>2</sup>			
	5					m <sup>2</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	05	—	0362
				2020/5/14
調整後保管日時		2020年5月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年5月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/5/27 9:40	3.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。